

第 3 期南丹市地域創生戦略の策定の基本方針

1 策定の趣旨

南丹市は、平成 27 年 10 月に最初（第 1 期）の南丹市地域創生戦略（以下「戦略」という。）を策定、令和 2 年 3 月には第 2 期の戦略を策定し、施策や事業の展開に取り組んできました。第 2 期の戦略が令和 6 年度で期間満了を迎えることや国の新たな総合戦略が策定されたことを踏まえ、これまでの地域創生の取組を継承、発展し、デジタルの力を活用する視点を加え、第 3 期の戦略を策定しようとするものです。

また、同じく令和 2 年 3 月に策定した南丹市人口ビジョン（以下「人口ビジョン」という。）の改定も併せて行います。

2 第 3 期人口ビジョンの策定

令和 2 年（2020 年）国勢調査を基本とした最新の数値や状況の変化などを踏まえて分析した上で、第 3 期人口ビジョンを策定します。

(1) 計画（対象）期間

第 2 期の人口ビジョンや国の「長期ビジョン」と同じく、2060 年までとします。

(2) 人口推計

国勢調査結果に基づく国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）推計の公表に合わせて見直すことを原則とし、国の政策による動向等を注視しつつ、将来変動に大きな乖離が見込まれる場合に改定していくものとします。

今回は、令和 5 年 12 月に公表のあった社人研の 2020 年（令和 2 年）の国勢調査を基にした人口推計を踏まえ、将来人口シミュレーションを行い、目指すべき将来の目標人口を設定します。

3 戦略の策定

長期的な人口ビジョンにおける人口の現状と将来の姿を踏まえ、第 2 期の基本目標の達成度や課題などを検証し、第 3 期の創生戦略の策定に取り組んでいきます。

(1) 基本的な考え方

- ① 現行の 4 つの基本目標の枠組みを継承し、改善を加えながら発展させる。
- ② デジタルの力の活用する視点を加え、地方創生の取組を加速化・深化させる。
- ③ 市の政策目標を客観的に検証できる指標（K G I）と施策の効果を検証できる指標（K P I）を設定する。

(2) 基本的な視点

「まち・ひと・しごと創生法」第10条の規定により、国が定める「デジタル田園都市国家構想総合戦略」及び京都府が定める「京都府地域創生戦略」を勘案します。

また、南丹市総合振興計画との整合を図りながら戦略を策定していきます。

(3) 計画（対象）期間

令和7年度（2025年度）から令和11年度（2029年度）までの5年間とします。

4 策定体制

(1) 南丹市地域創生会議

産業分野の関係者など委員10人で構成し、戦略に掲げる施策の実施状況等の検証や人口ビジョン、第3期南丹市地域創生戦略の構築など、地域創生の取り組みを進めていきます。

(2) 南丹市庁議

市長、副市長、教育長と部長級の職員で構成する「南丹市庁議」を庁内における意思決定機関として最終的な合意形成を図ります。

(3) 市民参加

パブリックコメントの実施、南丹市地域創生会議における市民委員の公募など、市民参加の機会を設け、広く市民意見を聴取し、反映するよう努めます。

(4) 南丹市議会

策定した戦略を市議会へ報告します。

5 策定スケジュール

区分	令和6年					令和7年		
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人口ビジョン	調査	→			素案	中間案	→	最終案 改定
地域創生戦略	調査	検討	→	骨子	中間案	→	最終案	策定
地域創生会議				会議	会議		会議	
南丹市庁議						会議		会議
市民参加	市民意識調査					パブリック コメント		
南丹市議会								報告

6 地域創生会議の運営について

区分	議 事 等	摘 要
1 回目 (第3回会議) (11月14日)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 策定の基本方針の説明 ○ 第2期戦略 4つの基本目標の総括(4年間) ○ 第3期戦略骨子の説明 ○ 第3期人口ビジョン素案の説明 	<p><u>決定いただきたい事項</u></p> <p>◆4つの基本目標の4年間の評価と今後の方向性</p> <p><u>協議いただきたい事項(次の会議までにお願 いする事項)</u></p> <p>◆4年間の評価を踏まえた、本市の戦略の改善点や、今後どのような施策、事業が必要なのか等の提案</p>
2 回目 (第4回会議) (12月中旬)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第3期戦略中間案の説明 ○ 第3期人口ビジョン中間案の説明 ○ 意見交換 (第3期戦略の基本目標、数値目標、基本的な方向、具体的な施策、K P I、具体的な事業等) 	<p><u>決定いただきたい事項</u></p> <p>◆パブリックコメントを実施するための第3期の中間案の承認(基本目標、数値目標、基本的な方向、具体的な施策、K P I等)</p>
3 回目 (第5回会議) (2月)	<ul style="list-style-type: none"> ○ パブリックコメント状況報告 ○ 第3期人口ビジョン(最終案)の説明 ○ 第3期戦略(最終案)の説明 ○ 意見交換 	<p><u>決定いただきたい事項</u></p> <p>◆第3期人口ビジョン(最終案)の承認</p> <p>◆第3期戦略(案)の承認</p>

第2期南丹市地域創生戦略 基本目標の総括

基本目標1

しごとをつくり、そこで働くひとをふやす

	指標	2018年度 (平成30年度)		2019年度 (平成31年度) ※第1期最終年度		2020年度 (令和2年度)		2021年度 (令和3年度)		2022年度 (令和4年度)		2023年度 (令和5年度)		2024年度 (令和6年度)		達成度
		基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	指標値	指標値				
K G I	誘致企業就業若者数(正社員+パート・アルバイト)	2,777人	2,871人	2,895人	2,982人	3,076人	3,146人	3,100人	101.5%							
	誘致企業地元雇用率	34.9%	33.3%	30.7%	34.1%	34.1%	36.1%	36.1%	100.0%							
	認定農業者数+認定新規就農者数	128人	130人	130人	137人	145人	141人	150人	94.0%							
K P I (1)	企業誘致数	累計35社	2社 (宮崎化学・弘伸)	3社 (ツーナインジャパン・ TOCOLIFE・坂ノ途中)	3社 (ツーナインジャパン・ 宮崎化学・伸精機)	1社 (プレミアムグラス)	1社 (晴耕社)	累計5社	200.0%							
	製造品出荷額等	194,255百万円/年	194,013百万円/年	169,991百万円/年	131,382百万円/年	—	—	230,000百万円/年	57.1%							
	製造事業所数	81事業所	82事業所	86事業所	71事業所	—	—	90事業所	78.9%							
	サテライトオフィス相談数	累計6件 ※4年間	5件/年	8件/年	7件/年	12件/年	15件/年	累計10件	150.0%							
	販路開拓支援相談数	349件/年	241件/年	145件/年	198件/年	109件/年	162件/年	400件/年	40.5%							
	農業産出額	510千万円/年	51億円/年(H29実績)	50億円/年(H30実績)	49.2億円/年 (R1実績)	47.5億円/年 (R2実績)	43.7億円/年 (R3実績)	60億円/年	72.8%							
	ブランド京野菜作付面積	121.2ha	117.3ha	118.7ha	126.1ha	120.5ha	118.4ha	156ha	75.9%							
	間伐実績	547ha/年 ※4年平均	473.5ha/年	467ha/年	486ha/年	615a/年	—	600ha/年	102.5%							
	京都府豊かな森を育てる府民税市町村交付金事業数	3~4事業/年 ※3年平均	3事業/年	3事業/年	3事業/年	3事業/年	3事業/年	3~4事業/年	100.0%							
	製造業従事者数	3,188人	3,308人	3,280人	3,079人	—	—	3,800人	81.0%							
南丹市農業次世代人材投資資金新規交付者数	累計27人 ※4年間	29人/年	28人/年	30人/年	26人/年	21人/年	累計39人	343.6%								
市民の市内就業率	63.9%(R1)	63.9%	60.6%	61.7%	52.7%	50.9%	68.9%	73.9%								

第2期の振り返り

- ・KGIについて、順調に推移し、「誘致企業就業若者数」と「誘致企業地元雇用率」は目標値を達成しており、「認定農業者数+認定新規就農者数」も、目標達成までもう少し。
- ・KPIについて、「企業誘致数」「サテライトオフィス相談数」「間伐実績」「京都府豊かな森を育てる府民税市町村交付金事業数」「南丹市農業次世代人材投資資金新規交付者数」の項目で目標を達成している。
- ・「認定農業者数+認定新規就農者数」が増えているにもかかわらず、「農業産出額」の数値が年々減少し、「ブランド京野菜作付面積」も伸び悩んでいる現状がある。
- ・「販路開拓支援相談数」について、平成30年度の基準値と比べて半減している。

第3期に向けて

- ・「製造品出荷額等」「製造事業所数」「製造業従事者数」の数値根拠について、令和2年度実施を最後に「工業統計調査」が廃止され、令和3年度以降は「経済センサス(5年毎の調査)」となった。5年毎の数値把握となるため、第3期の指標として適切でない。
- ・「農業産出額」の数値が2年遅れでの公表となっている。

基本目標2 南丹市への新しい人の流れをつくる		指標		2019年度 (平成31年度) ※第1期最終年度		2020年度 (令和2年度)		2021年度 (令和3年度)		2022年度 (令和4年度)		2023年度 (令和5年度)		2024年度 (令和6年度)		達成度
		基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	指標値	指標値				
K G I	転入者数	1,248人/年	1,201人/年	1,130人/年	1,248人/年	1,092人/年	1,194人/年	1,408人/年	84.8%							
	転出者数	1,291人/年	1,325人/年	1,214人/年	1,169人/年	1,070人/年	1,189人/年	1,251人/年	95.0%							
	観光入込客数	229万人/年	237万人/年	183万人/年	200万人/年	229万人/年	245万人/年	270万人/年	90.7%							
K P I (1)	観光宿泊者数	106,338人/年	114,898人/年	86,125人/年	84,861人/年	109,538人/年	130,757人/年	120,000人/年	109.0%							
	空き家バンク登録件数	49件/年	59件/年	50件/年	51件/年	57件/年	59件/年	60件/年	98.3%							
	空き家活用件数	累計118件	19件/年 (5年間累計102件)	41件/年	40件/年	40件/年	41件/年	累計175件	103.4%							
K P I (2)	移住相談件数	累計717件 ※4年間	419件/年 (5年間累計1,136件)	718件/年	566件/年	819件/年	617件/年	累計1,500件	209.3%							
	広域観光事業実施数	累計20事業 ※4年間	15事業/年	3事業/年	2事業/年	8事業/年	7事業/年	累計24事業	145.8%							
	観光イベント来場者数	105,700人/年	31,500人/年	実績なし	実績なし	9,860人/年	23,235人/年	126,000人/年	18.4%							
K P I (2)	外国人宿泊者数	5,409人/年	4,530人/年	677人/年	30人/年	359人/年	6,792人/年	6,500人/年	104.5%							
	農家民宿開業者数	15人	15人	19人	21人	22人	23人	18人	127.8%							
	農家民宿宿泊者数	828人/年	1,496人/年	660人/年	772人/年	1,355人/年	1,644人/年	1,500人/年	109.6%							
市ホームページイベント・観光アクセス数	市ホームページアクセス数	—	40,000件/年	10,940件/年	14,475件/年	14,673件/年	13,000件/年	45,000件/年	28.9%							
	ふるさと納税寄附者数	297人/年	1,593件/年	4,457件/年	6,100件/年	8,249件/年	9,632件/年	2,500件/年	385.3%							
<p>第2期の振り返り</p> <p>・KGIについて、「転入者」と「転出者」において、目標に達していないものの、令和3年度以降転入超過が続いている。「観光入込客数」と「観光宿泊者数」においては、コロナ禍で一時的に減少したが、令和5年度実績値は計画期間で最高値となっている。</p> <p>・KPIについて、「空き家活用件数」「移住相談件数」「広域観光事業実施数」「外国人宿泊者数」「農家民宿開業者数」「農家民宿宿泊者数」「ふるさと納税寄附者数」で目標を達成している。</p> <p>・「観光イベント来場者数」が目標に対して達成度が低くなっている。</p>																
<p>第3期に向けて</p> <p>・「市ホームページイベント・観光アクセス数」について、平成31年度のホームページ改修時にURLやカテゴリを変更後、正確な数値を把握できていない。グローバルナビゲーションのURLごとに対応した件数を回答している。</p>																

基本目標3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる		2018年度 (平成30年度)		2019年度 (平成31年度) ※第1期最終年度		2020年度 (令和2年度)		2021年度 (令和3年度)		2022年度 (令和4年度)		2023年度 (令和5年度)		2024年度 (令和6年度)		達成度
		基準値		実績値		実績値		実績値		実績値		実績値		指標値		
K G I	婚姻数	98件/年	94件/年	69件/年	77件/年	62件/年	77件/年	62件/年	77件/年	62件/年	77件/年	115件/年	67.0%			
	出生数	200人/年	171人/年	165人/年	131人/年	166人/年	132人/年	166人/年	132人/年	166人/年	132人/年	220人/年	60.0%			
K P I (1)	子ども女性比(0~4歳人口/15~49歳女性人口)	18.7%	17.7%	17.7%	17.1%	17.2%	16.4%	17.2%	16.4%	17.2%	16.4%	20.0%	82.0%			
	婚活事業参加者数	延べ154人 ※2年間	延べ95人/年	実績なし	延べ49人	延べ65人	実績なし	延べ400人	—							
K P I (2)	不妊治療支援件数	累計224件 ※4年間	45件/年	50件/年	68件/年	72件/年	累計300件	94.0%								
	多子世帯数(子育て手当第3子以降支給対象世帯数)	211世帯	199世帯	182世帯	168世帯	163世帯	250世帯	69.2%								
K P I (2)	保育所定員数	775人	775人	775人	907人	907人	850人	106.7%								
	地域子育て支援拠点事業利用者数	延べ9,840人/年	延べ9,632人/年	延べ6,920人/年	7,220人/年	延べ7,515人/年	延べ13,000人/年	77.8%								
K P I (2)	子育て支援団体数	14団体	18団体	18団体	19団体	19団体	17団体	100.0%								
	安心して妊娠・出産・子育てができるまちだと感じている市民の割合	55.5%	40.5%	43.1%	46.4%	39.2%	35.3%	58.3%								
K P I (2)	大学等との連携事業数	累計38事業 ※4年間	17事業/年	5事業/年	5事業/年	13事業/年	累計55事業	90.9%								
	誘致企業新規採用市民数	38人	36人/年	16人/年	17人/年	25人/年	45人/年	44.4%								
K P I (2)	学生の職業体験に関わる市内企業数	—	13社	13社	14社	14社	14社	107.7%								
	第2期の振り返り	<p>第2期について、「婚姻数」「出生数」「子ども女性比」のいずれも細心の実績値が基準値より低い数値となっており、伸び悩んでいる。</p> <p>・KPIについて、「保育所定員数」「子育て支援団体数」「学生の職業体験に関わる市内企業数」において、目標を達成している。</p> <p>・安心して妊娠・出産・子育てができるまちだと感じている市民の割合」は基準値から減少し続けている。</p>														
K P I (2)	第3期に向けて	<p>第3期について、婚活事業は、男女比率が偏っていたり、費用対効果が薄かったことで事業継続が困難と判断したため、令和5年度をもって廃止となった。</p> <p>・「学生の職業体験に関わる市内企業数」の目標について、「積極啓発により推進」しているが、数値目標の設定も可能。</p>														
	学生の職業体験に関わる市内企業数	<p>積極啓発により推進</p>														

基本目標4 誰もが安心して暮らし、活躍できる地域をつくる	指標	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度) ※第1期最終年度	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	達成度
		基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	指標値	
K G I	南丹市が住みやすいと感じている市民の割合	63.3%	46.4%	52.8%	54.8%	49.5%	42.7%	68.3%	63.0%
	防災の面で安心して暮らせるまちだと感じている市民の割合	37.3%	31.2%	39.0%	39.0%	36.4%	32.2%	42.3%	76.1%
	市民の地域活動参加率	55.9%	55.9%	44.6%	39.8%	46.3%	49.8%	60.9%	81.8%
K P I (1)	高齢の方にとって安心して暮らせるまちがあると考える市民の割合	37.0%	27.9%	31.0%	33.3%	27.6%	26.8%	42.0%	63.8%
	障がいのある方にとって安心して暮らせるまちであると思う市民の割合	29.0%	20.3%	23.4%	23.0%	17.7%	21.0%	34.0%	61.8%
	地域で防災活動が活発に行われていると思う市民の割合	—	31.2%	38.4%	30.1%	34.2%	31.5%	36.2%	87.0%
	自主防災組織数	25組織	25組織	25組織	25組織	25組織	28組織	30組織	93.3%
K P I (2)	市バスの利用者数(小学生の通学分を除く)	116,489人/年	131,466人/年	105,089人/年	85,974人/年	84,368人/年	99,458人/年	125,000人/年	79.6%
	地域リーダー養成数	累計50人 ※4年間	実績なし	19人/年	8人/年	17人/年	6人/年	累計70人	71.4%
	地域活性化支援事業実施数	21事業/年	20事業	12事業/年	15事業/年	13事業/年	15事業/年	16事業/年	93.8%
	まちづくり活動交付金事業実施数	25事業/年	29事業/年	15事業/年	13事業/年	11事業/年	7事業/年	30事業/年	23.3%
	京都府との事業連携	—	3事業/年	4事業/年	3事業/年	3事業/年	3事業/年	累計20事業	80.0%
近隣自治体との事業連携	—	4事業/年	3事業/年	3事業/年	3事業/年	3事業/年	累計10事業	180.0%	

第2期の振り返り
 ・KGIについて、「南丹市が住みやすいと感じている市民の割合」が基準値から最新の実績値までで20%以上減少している。
 ・「市民の地域活動参加率」については、コロナ禍で参加率が下がったが、令和4～5年度と上がってきている。

・KPIについて、「近隣自治体との事業連携」が目標達成している。
 ・「市バスの利用者数」が一時的に減少したが、令和5年度は回復が見られる。

第3期に向けて
 ・デジタル化に向けた指標の設定に関する検討が必要。